

群馬県地域文化研究協議会 令和8(2026)年度総会・研究大会 開催

シリーズぐんま塩鉄酒論 vol.3 「内陸・群馬における塩をめぐる歴史について考える」

◆開催趣旨

シリーズ「ぐんま塩鉄酒論」(全3回)では、時代を越えて私たちの暮らしを支えてきた必要不可欠な物資(生活物資)の歴史的意義を考える。

私たちは令和の時代に日本歴史に深く刻まれるであろう“コロナ禍”を経験した。それまで当たり前であった「日々の営み」が制限され、改めて日常生活の有り様を考えさせられる事態に直面した。過去から連綿と続く私たちの生活は、実に多くの生活物資によって支えられている。しかし、それらはあまりに日常的な風景であるため、生産や流通の実態が十分に認識されず、研究の深まりが遅れているものも少なくない。そこで「塩・鉄・酒」をテーマに掲げ、群馬県と他地域の実態を比較検討して理解を深めてきた。

最終回となる第3回は「塩」に焦点を当てる。塩は、人間や動物が生きていく上で欠かすことのできない最重要物資の一つである。海から遠い内陸の群馬においても人々は3万8千年以上にわたり絶えず塩を獲得し続けてきたが、その獲得や流通の具体的な経路についてはいまだ全容が解明されているわけではない。本大会では塩に関わる各分野の専門家を招き、最新の研究成果を通して塩の獲得に関する知見を深め、群馬県地域文化の更なる向上と振興に寄与することを目的とする。

◆日 時：令和8年6月6日(土) 11:00～16:50(研究大会受付：12:30～)

◆会 場：群馬県立文書館 3階 研修室(前橋市文京町3丁目27-2)

◆主 催：群馬県地域文化研究協議会

◆共 催：共愛学園前橋国際大学

◆後 援：群馬県、群馬県教育委員会、(公財)群馬県埋蔵文化財調査事業団、群馬歴史民俗研究会、群馬歴史資料継承ネットワーク、(一財)群馬地域文化振興会

◆参加者：先着70名(事前申込み不要、会員外も参加可)

◆資料代：300円

◆内容・日程：

- I 令和8年度総会(本会会員のみ)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・11:00～12:00
[令和7年度活動報告・決算報告・監査報告、第23期役員改選、令和8年度活動計画・予算、他]
- II 令和8年度研究大会(会員外も参加可)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・13:00～16:50
 - 1 開会挨拶・趣旨説明・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・13:00～13:05
 - 2 講演・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・13:05～14:35
「世界の塩・日本の塩・群馬の塩～資源と製法の制約から読み解く塩事情～」
たばこと塩の博物館 主任学芸員 高梨浩樹氏
 - 3 研究報告1・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・14:45～15:30
「温泉水を活用した塩づくりの取り組み」
山梨県立大学国際政策学部 教授 増田貴史氏
 - 4 研究報告2・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・15:30～16:15
「シオと地名～明治の温泉案内から～」
群馬地名研究会 事務局長 井野修二氏
 - 5 シンポジウム・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・16:20～16:50
「内陸・群馬における塩をめぐる歴史について考える」
パネリスト 高梨浩樹氏・増田貴史氏・井野修二氏
(司会) 深澤敦仁(当会研究委員会代表)
 - 6 閉会挨拶・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・16:50～16:55

【お知らせ】*駐車場のスペースが限られている(約60台分)ため、当日は詰め込み駐車にご協力ください。なお、近隣の民間駐車場のご利用もお勧めいたします。

*会場の県立文書館内では所蔵資料保存のため一切食事はできません。水分補給は所定の場所(1階ロビー、2階休憩コーナー、3階研修室)でのみ可能です。

◆『群馬文化』357号掲載の「会告」と、研究大会の「内容・日程」の一部に変更があります。

【問い合わせ：gunmabunka@gmail.com】